

夫婦旅行を楽しんでいる人は約6割
年に1回以上、旅行に行くと夫婦円満
約8割が「寝室が一緒」と回答

——夫婦の旅行に関する調査——

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20130228/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学）と楽天トラベル株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：岡武 公士）は、夫婦の旅行に関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、2月5日から6日の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約228万人）の中から、全国の30歳から69歳の既婚で配偶者と同居している男女計1,000人を対象に行いました。

■□ 調査結果概要 □■

- 4割以上が朝夕の食事を一緒にし、半数以上が30分から2時間程度の会話をしている
- 6割弱がプレゼントを「贈っている」。「必ず贈る」人は年代が上がるにつれて減少
- 夫婦共通の趣味がある人は約6割
- 6割近くが夫婦二人で旅行をしていると回答。人気の旅行先は「温泉」
- 年に1回以上夫婦で旅行している人の約8割は、寝室が同室
- 旅行によって夫婦の絆が深まると感じている人は約7割
- 記念日のイベントやプレゼント、いずれも「旅行」が上位に

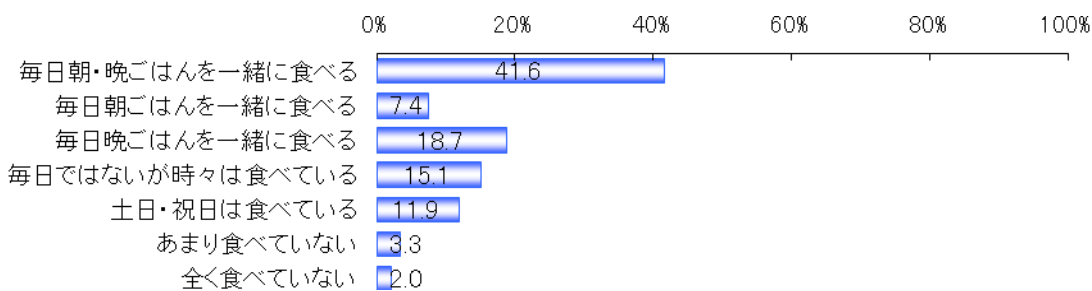
■ □ 調査結果 □ ■

■ 4割以上が朝夕の食事を一緒にし、半数以上が30分から2時間程度の会話をしている

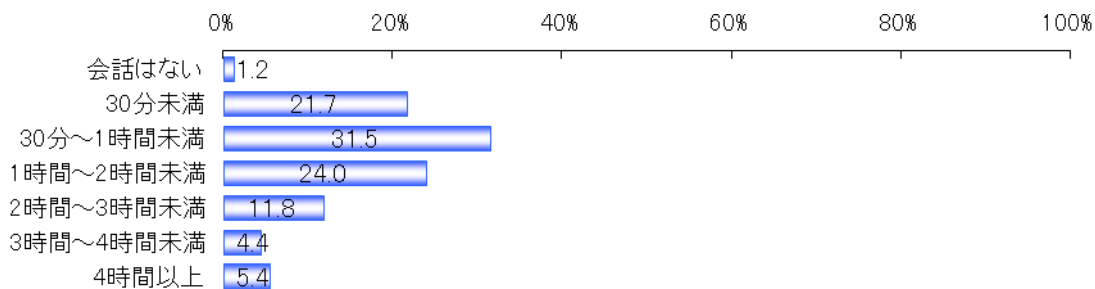
まず、夫婦での食事について聞いた。4割以上（41.6%）の人が、「毎日朝・晩ごはんを一緒に食べる」と回答。ほかに、「毎日朝ごはんを一緒に食べる」が7.4%、「毎日晩ごはんを一緒に食べる」が18.7%、「毎日ではないが時々食べている」が15.1%などとなった。「あまり食べていない」「まったく食べていない」は、それぞれ3.3%、2.0%と少数にとどまっている。

1日の夫婦の会話時間で最も多かったのは、「30分～1時間未満」（31.5%）。「1時間から2時間未満」（24.0%）がそれに続いた。この2回答の合計で半数超（55.5%）となっている。また、「4時間以上」という回答が5.4%あったのに対し、「会話はなし」という回答はわずか1.2%にとどまっている。“会話のない夫婦が増えている”という見方は俗説と言ってよさそうだ。また夫婦の会話時間と夫婦喧嘩の頻度を照らし合わせたところ、夫婦の会話を「全くしない」と回答した人も、「4時間以上」と回答した人にも、夫婦喧嘩をよくする人がいた。（全くしない% %）

◇夫婦一緒に朝食・夕食を食べる？（n=1,000） 単位：%



◇1日の夫婦の会話時間（n=1,000） 単位：%



■ 6割弱がプレゼントを「贈っている」。「必ず贈る」人は年代が上がるにつれて減少

相手の誕生日や記念日にプレゼントを「毎年（毎回）必ず贈っている」人は、全体の35.1%。「時々贈っている」人は22.6%だった。一方、「以前は贈っていたが、最近は贈っていない」「以前からあまり贈ったことはない」という回答もそれぞれ18.6%、17.5%にのぼった。プレゼントを贈っている人の合計は57.7%で、「贈っていない」「贈ったことはない」人の合計は42.3%となった。

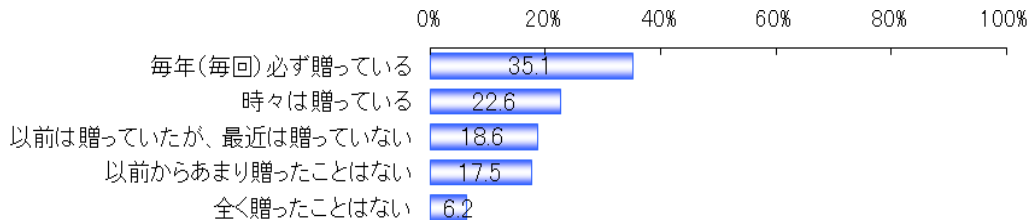
年代別で見ると、30代では52.4%の人が「毎年（毎回）必ず贈っている」と答えているが、年代が上がるにつれて、回答数は減っている（40代は39.2%、50代は27.6%、60代は21.2%）。60代で「毎年（毎

回) 必ず贈っている」と答えた人は、30代で同回答を選んだ人の半分以下となっている。

また男女別で見ると、「毎年(毎回)必ず贈っている」「以前からあまり贈ったことはない」「まったく贈ったことはない」の3項目はほぼ同じポイントとなっている。プレゼントを贈るか贈らないかは個人の判断ではなく、夫婦間の習慣であることがわかる結果だ。

夫婦の喧嘩頻度

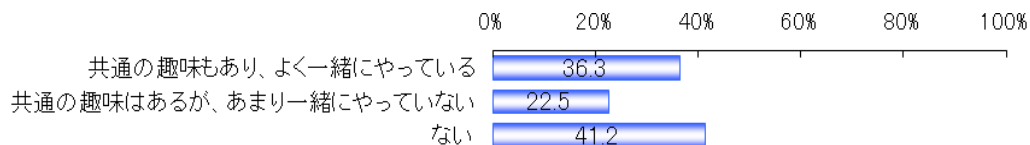
◇相手の誕生日や記念日にプレゼントを贈る？ (n=1,000) 単位：%



■夫婦共通の趣味がある人は約6割

夫婦共通の趣味がある人は約6割 (58.8%)。そのうち「よく一緒にやっている」人は36.3%で、「あまり一緒にやっていない」人は22.5%となっている。

◇夫婦共通の趣味 (n=1,000) 単位：%



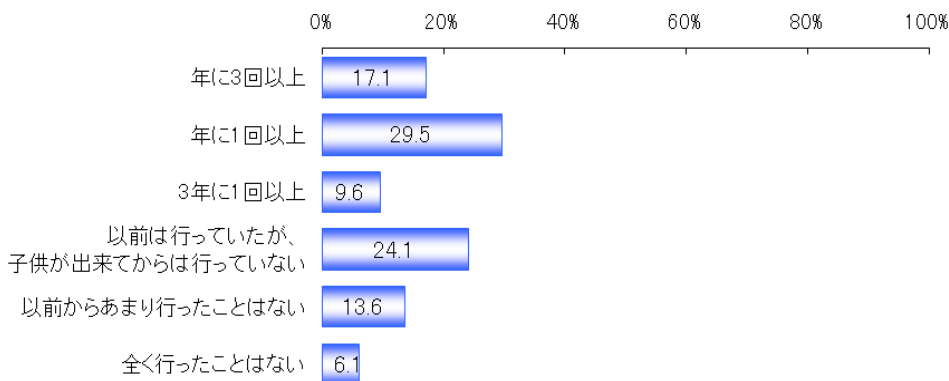
■6割近くが夫婦二人で旅行をしていると回答。人気の旅行先は「温泉」

夫婦での旅行に関する質問では、「年に1回以上」(29.5%)、「以前は行っていたが、子どもができてからは行っていない」(24.1%)、「年に3回以上」(17.1%)がトップ3の回答となった。現在夫婦二人で旅行をしている人の合計は、56.2%となっている。

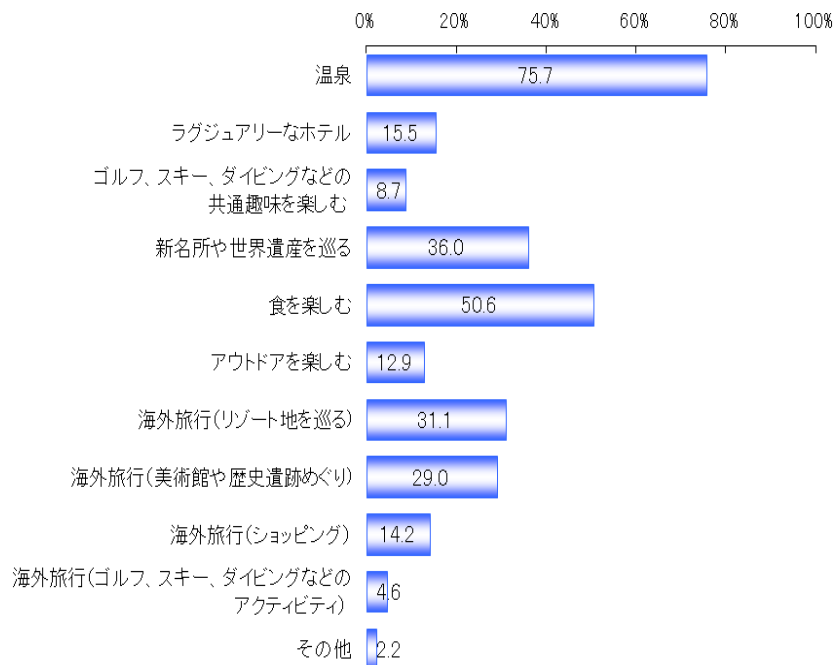
続いて、夫婦でどのような旅行がしたいか、あるいはどんな場所に行きたいかを聞いた(複数選択)。目立って多かったのが「温泉」で75.7%。以下、「食を楽しむ」(50.6%)、「新名所や世界遺産を巡る」(36.0%)、「海外旅行(リゾートを巡る)」(31.1%)、「海外旅行(美術館や歴史遺跡巡り)」(29.0%)などの回答が続いた。

さらに、魅力的に感じる夫婦旅行のプランについて聞いたところ、「ホテルや旅館でゆっくり過ごせる滞在時間が長めのプラン」が54.3%でトップとなり、「部屋で料理を食べるルームサービスのついたプラン」が30.5%でそれに続いた。「ゆっくり」「室内」「食」などが人気を集めるプランの要素のようだ。

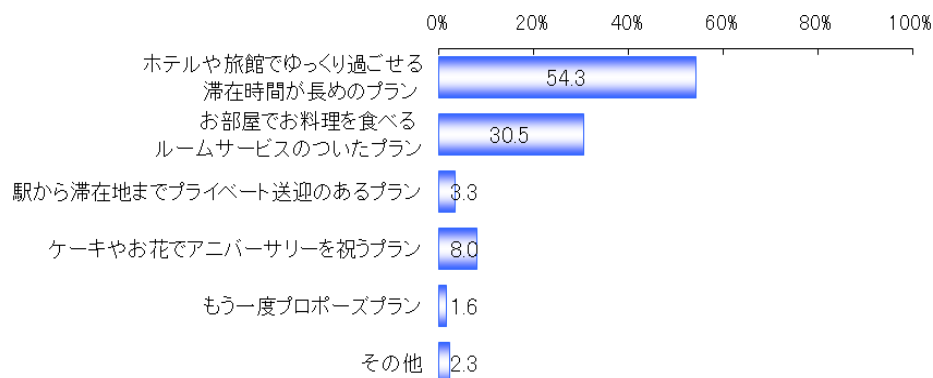
◇夫婦二人での旅行 (n = 1,000) 単位：%



◇夫婦二人でしたい旅行／行きたい場所 (n = 1,000) 複数選択 単位：%



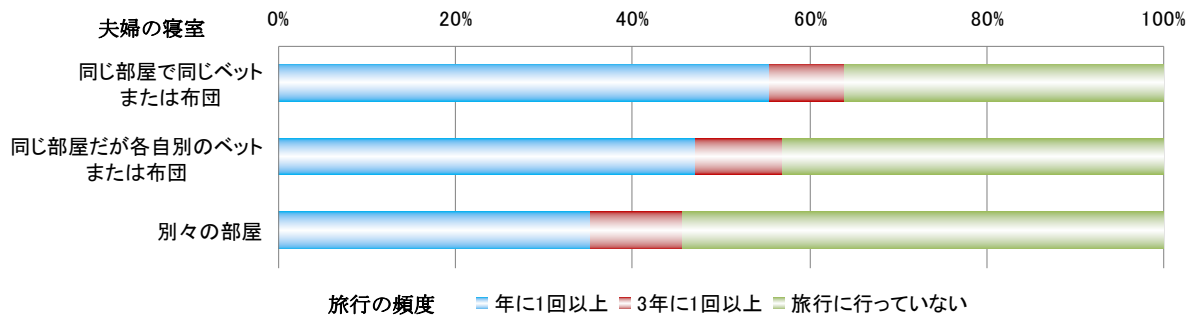
◇「こんな内容なら選びたい」と思う夫婦旅行のプラン (n = 1,000) 単位：%



■年に1回以上夫婦で旅行している人の約8割は、寝室が同室

夫婦での旅行を「年に一回以上する」と回答した人の内、寝室が同室であるとの回答は、約8割となった。(79.61%) また、「旅行にっていない」(33.56%)と回答した夫婦では「寝室が別々の部屋」との回答が一番多く、「3年に1回以上」が29.17%でそれに続いた。寝室が同室である夫婦が2人での旅行に積極的である傾向にあるようだ。定期的に旅行に出かけることが、夫婦仲をよく保つには有効であることがわかる。

◇夫婦の寝室 と 夫婦旅行の頻度 単位：%

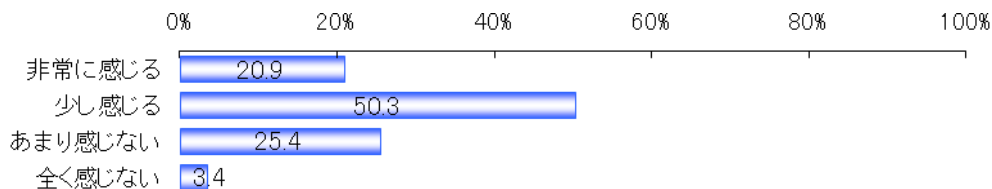


■旅行によって夫婦の絆が深まると感じている人は約7割

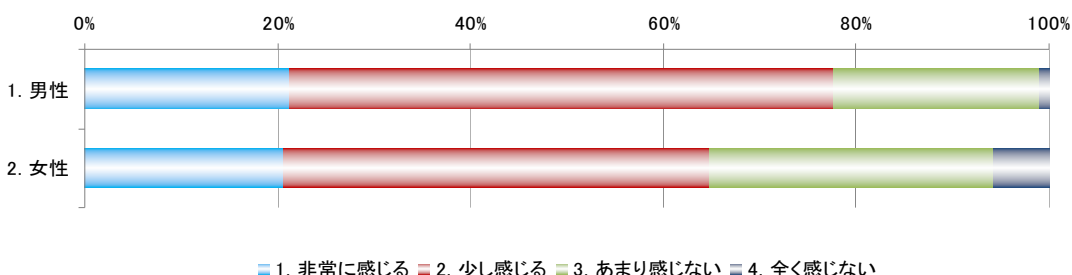
旅行することで夫婦の絆が深まると感じる人は、約7割(71.2%)。うち、「少し感じる」が50.3%、「非常に感じる」が20.9%となっている。一方、「あまり感じない」「まったく感じない」という回答も28.8%あった。男女別に見ると、「非常に感じる」「少し感じる」の回答は男性が女性を約13ポイント上回っていた。旅先などの非日常的なシーンでは世代に関係なく男性の方が妻の大切さを実感しているようだ。

一方、2011年3月の東日本大震災は、夫婦の絆に影響を与えただろうか？震災の影響で夫婦の絆が深まったと感じるようになった人は約4割(42.2%)で、「あまり感じない」「まったく感じない」の合計(57.8%)を下回っている。こちらも男女別に見てみると、「非常に感じるようになった」「少し感じるようになった」は女性の方が約16ポイント高かった。震災の危機に直面した際、女性は改めて夫の大切さを見直すきっかけとなったことが明らかになった。

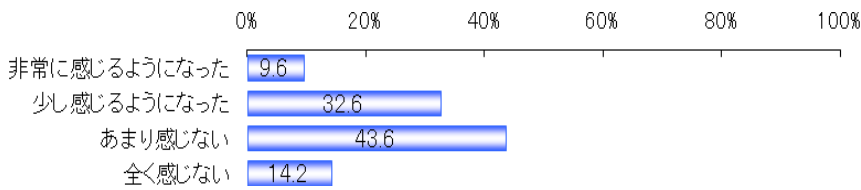
◇旅行することで夫婦の絆は深まると感じる？ (n=1,000) 単位：%



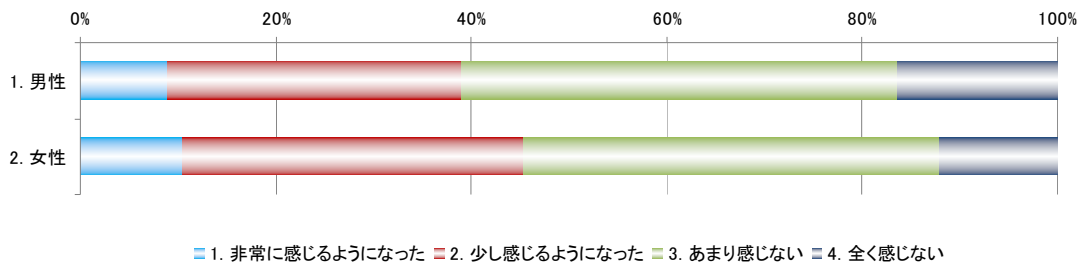
◇男女別 単位：%



◇震災の影響で夫婦の絆が深まったと感じる？ (n=1,000) 単位：%



◇男女別 単位：%

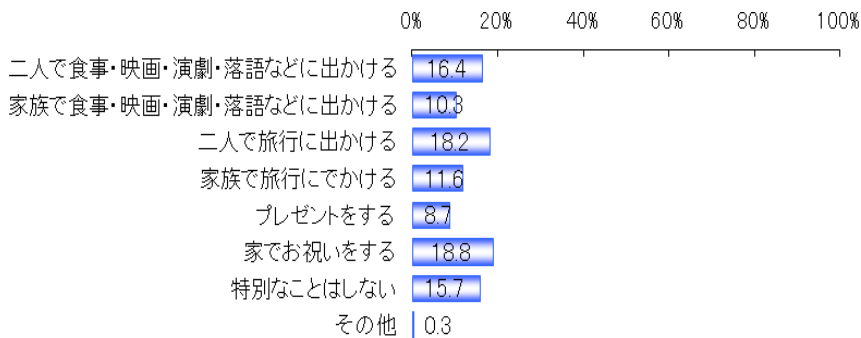


■記念日のイベントやプレゼント、いずれも「旅行」が上位に

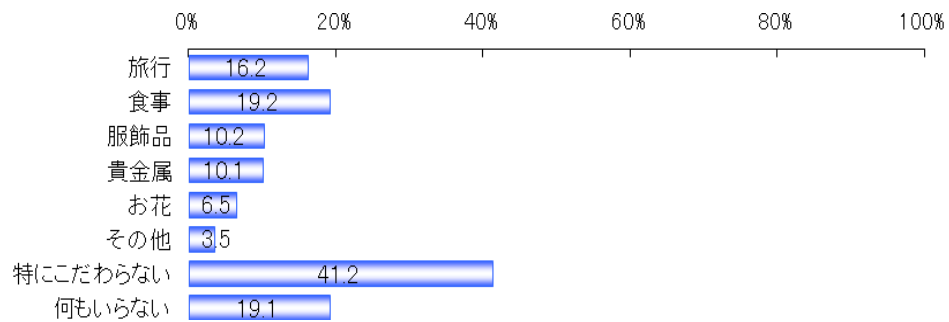
次の記念日にしたいことについての質問では、「家でお祝いをする」(18.8%)、「二人で旅行に出かける」(18.2%)、「二人で食事・映画・演劇・落語などに出かける」(16.4%)がトップ3の回答となった。一方、「特別なことはしない」という回答も15.7%あった。

最後に、記念日に贈ってほしいプレゼントを全員に聞いた(複数選択)。具体的なプレゼントでとくに多かったのが、「食事」(19.2%)と「旅行」(16.2%)。一般的なプレゼントとして上位に挙がりそうな「服飾品」「貴金属」は、いずれも1割台の回答となっている(10.2%、10.1%)。また、「特にこだわらない」という回答も41.2%にのぼった。

◇次の記念日にしたいこと (n=1,000) 単位：%



◇記念日に贈ってほしいプレゼント (n=1,000) 複数選択 単位：%



◆◆◆関連サイト◆◆◆

楽天トラベル

<http://travel.rakuten.co.jp>

楽天トラベル記念日プラン特集：

<http://travel.rakuten.co.jp/premium/anniversary/>

【調査概要】

調査エリア：全国

調査対象者：30歳から69歳男女 既婚 夫婦で同居している方

回収サンプル数：1,000サンプル

調査期間：2013年2月5日から2月6日

調査実施機関：楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天株式会社 広報部 (担当：宗形、五十嵐)

TEL：050-5817-1104 Email：pr@mail.rakuten.com